健康のいずみ

2023 3 No.591

今号のおもな記事

1～2面…福島県民医連・遠藤剛医師インタビュー
3面…立川相互病院の風景
4面…PFAS血液検査の中間報告
私の本棚「空飛ぶ馬」

社会医療法人社団健生会・広報紙
発行●広報委員会
〒190-0022 東京都立川市錦町1-23-25
電話 (042)523-2375　ＦＡＸ (042)528-2860
URL:https://www.t-kenseikai.jp/
E-mail:izumi@t-kenseikai.jp
2023年3月5日　No.591

一人の医師が向きあった、生きること・支えあうこと

～12年目の春、フクシマを忘れない～

2月10日、政府は12年前の福島第一原発事故からの教訓を反故にしたまま、原発の新規建設、長期利用を可能とした「原発回帰」となる方針を閣議決定しました。12年を経てなお、帰宅困難、原発汚染水の海洋放出など、「安全神話」を払拭できぬまま問題が山積しています。福島の医療を支えるために走り続ける、福島県民医連・遠藤剛医師を現地に訪ね、この12年間への思いを伺いました。

私が震災当時に勤務していたのは福島市の医療生協わたり病院で、内陸ゆえに津波の被害はない地域でした。わたり病院は、飯舘村のすぐそばに位置しています。ところが福島第一原発の事故によって、原発周辺地域の人たちが徐々に北西に向かって避難し、福島市の体育館などで避難生活を始めることになります。我々医療者もすぐに避難所へ支援に出掛けて行きました。

募る放射能への不安

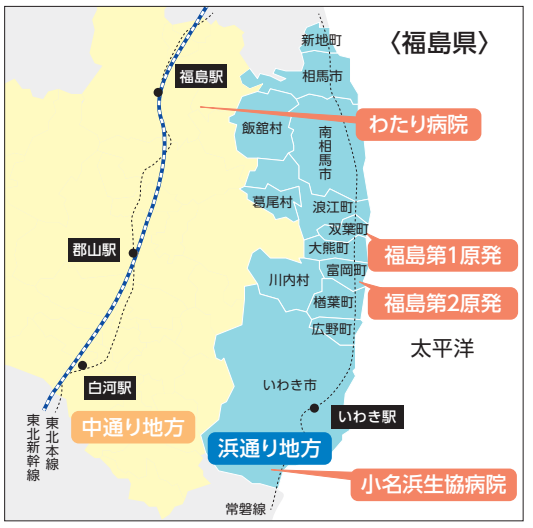
そして、まさに偶然ではあったのですが、広島県民医連・福島生協病院院長であった齋藤紀（おさむ）先生が、震災以前からわたり病院に赴任されていました。福島県立医大出身の齋藤先生がご自身の定年後の2009年から、医師不足であったわたり病院に来てくださっていたのです。

原発事故の直後から、住民・避難民の放射能への不安が大きく募っていきました。医療者として、放射能についての住民への説明会を開く必要性に迫られました。齋藤先生から、私も含め中堅や若手医師たちが放射能や被曝について多くのことを学び、冷静な視点を持って地域での説明会を開いていくことができました。原発事故当時に、齋藤先生がこの地にいらした――その偶然がもたらした力は計り知れません。

遠藤　剛（えんどう・ごう）医師
1956年福島生まれ、福島県立医大卒。小名浜生協病院副院長、前 医療生協わたり病院院長。福島県民医連・医師委員長。趣味は、野球（阪神ファン）、バンド（エレキギター、ブリティッシュハードロック系）。

「診療」の存続が危うい

わたり病院は、2000年代から慢性的な医師不足の状況にありました。そして、震災をきっかけに中堅と若手の2人の医師が、さらに看護師が10人近く退職しました。病院のある渡利（わたり）地域は原発から離れているにもかかわらず、点在する高濃度の放射能汚染地域の1つになっていました。特に子育て世代の職員にとって放射能への不安は、地域からの脱出を考える切実な問題となっていました。



震災後の2011年度4月からはそれこそ「診療が成り立たない」という厳しい現実に直面することになりました。

当時の院長が全日本民医連に支援要請を出し、最初の3カ月は大山美宏先生（当時は東京ほくと医療生協理事長）、次に立川相互病院の山田秀樹先生など、ベテラン医師の支援を受けることになりました。

大山先生が来てくださったのにはエピソードがありまして…。私が30代の頃に国立がんセンターの外科の専門研修に出たときに、中野共立病院にいた大山先生から「おまえは田舎もんだから、いきなり築地に行っても田舎もん扱いされる。一回中野に来い」と言われまして。実は中野共立病院が外科の研修医を初めて迎え入れるので、指導医を兼ねながら呼ばれた背景がありました。たった半年間でしたが、大山先生らとの関わりは、私が民医連で働いていくことの意味づけとなる大切な経験となりました。大山先生は「中野に来てくれた恩返し」だと震災直後に、わたり病院に支援に来てくれました。

小名浜生協病院。地域包括ケア49床・療養病棟60床。職員数153人。地域の人が行政機関に医療相談に行くと「小名浜生協病院に相談してみてください」と案内されることが多い。

再生をめざして

患者さんのためにも、とにかくわたり病院を存続させていかなくてはいけない、支援に来た先生方とともにその方策を徹底的に検討しました。最終的には、私が院長を引き受け、どうやって職員一丸で働いていくか、地域と連携してどうやって医療を守っていくか、その一念で走ってきました。

一時途絶えた研修医の受け入れも、2012年度に再開します。しかし研修医を指導する若手医師が足りない。指導医の支援として、立川相互病院からも当時、飯山きえ先生は

（2面へつづく）

いずみ

全日本民医連主催の「医師の働き方改革」に関する全国会議が開催された。この問題に頭を抱えていることが率直に語られ、「みんな仲間」という感を強くしたが、その中で「ことの本質」に気づかされた▼第一に、この「改革」が、医師の労働時間の規制を強化して、医師の命と健康を守る、という誰もが異論を挟めない「大義名分」のもとに進められていること。第二に、医師数を増やさずに医師の労働時間の削減だけを強化すれば、医療供給体制は縮小の方向に向かわざるをえないこと。第三に、その結果、国民の受療権も制約を受け、国の医療費の削減になること▼これまで「労働法制」の強化に背を向け続けてきた政権が、医師については「規制強化」を叫ぶことに違和感をもっていたが、そのあたりがスッキリした。と同時に、「この機会を『民医連改革』の機会と捉えるべき」という指摘を、深く考えなければならないと感じた次第である。（M・O）

（1面からつづく）

じめ5人の先生方に来ていただきました。

再び立ち上がるための多くの支援を受けた経験の中で、「困っているところに行く。民医連とはそういう組織なのだ」と私も職員たちも改めて強く感銘を受けたような気がします。

小名浜での診療から見えたこと

医師が足りないということで、私は3年前からいわき市の小名浜生協病院に支援に来て、外科の私が総合診療を週5日以上担っています。私は、1995年から福島県民医連の医師委員長として、県連全体の医師の育成や人事に取り組んできました。今回も人材の配置を検討する立場であったのですが、私自身に白羽の矢が立ったという訳です。私自身、いわき地域は研修医時代からさまざまな支援で関わりのあった思い入れのある土地でもありました。

いわき市は漁業と工場の町ですが、震災後、漁業も厳しい状態です。経済的困窮者が非常に多い印象を受けます。また、原発事故によって自宅に帰れなくなった被災者のうちの約1万6千人がいわき市に住んでいて、外来診療でも接する機会が多くあります。その方々はもう半ば諦めてこちらに家を建てていますが、住所はまだ例えば双葉町のままの方も多い。「帰りたいけど帰れない」「もう諦めるしかない」という気持ちをどうしようもなく抱えたまま、高齢化し施設に入所されたりしている。そういう方々を往診しています。

放射能との長いたたかい

福島のテレビでは時々、原子炉本体のデブリについて取り上げられていますが、あれが解決するのは次の世紀だろうと思います。今は国道6号線や常磐線が開通しましたが、福島第一原発の近くの地域に行くと、今でも線量計の数値は跳ね上がります。そして今後の原発汚染水の海洋放出は、漁業者をさらに苦しめることでしょう。一向に解決できていない問題が、山積しています。

原子力とは一度事故を起こしたらこうなるんだということを世の中に知らしめないと、この事態を引き起こしている根本が何も認識されず、変わらないままになってしまう。いったいこれから福島がどう再生していけるのか、もうこのままになってしまうのではないかとも思っていますが…。

原発事故のはるか前から原発反対を訴え、事故後は原発避難者集団訴訟の原告団長となった楢葉町の宝鏡寺住職・早川篤雄（とくお）さんが昨年12月にお亡くなりになりました。私が福島市にいる頃から、核問題のシンポジウムなどで知り合い、さまざまなお話を伺ってきました。いわきに来てからは私が早川さんの主治医となり、最期を看取らせてもらいました。

訴訟も継続しており、早川さんの活動は引き継がれていきます。そういう人たちの健康を守っていく、それが私たちの役割であると思っています。

これからも福島とともに

私は子どもの頃から親父に「自分の考えを率直に発言できる職業を選べ」と言われて育ちました。そして私の祖父の教え子が、初代の福島医療生協の理事長だったのです。ですから私は地元の医大を卒業するときにはもう、福島医療生協に入ることが決まっていたみたいなものです。民医連の理念という以前に、そういう小さい病院を仕事場に「どうせおまえは赤ひげ的になるんだから来い」と。抵抗はありませんでした。

そういう確信を持ってこの世界に飛び込み、歳を重ねてきました。その中で今、原発事故の収束が見えないというあまりにも大きな課題を突き付けられることになりました。福島は今、社会の矛盾を一番抱えた地域です。産業は衰退し、貧困により医療にかかれない人たちも多い。故郷に帰れないまま亡くなっていく人たちがいます。でも、そこで頑張っている民医連の病院があるということを是非知ってください。職員、とくに看護師さんたちの頑張りは本当に大したものです。いつでも見学にいらしてください。

（２０２３年２月６日インタビュー、於 小名浜生協病院）

今回の取材の案内人！ 田村 知秀さん

福島県いわき市出身で、2001年～共立医療会、2010年～健生会、2015年～福島・浜通り医療生協に勤務という経歴をお持ちです。車で移動しながら聞く「昔、この辺りは…」という田村さんのお話しで、福島へのイメージが豊かに湧きました。

田村さんへ一問一答！

Q１　健生会在職中に特に印象に残ったことは？

東日本大震災の翌々日、立川相互病院の医師３人をマイカーに乗せ、宮城・坂総合病院に向け夜の東北自動車道をひた走ったこと。北上する自衛隊トラックのおびただしい隊列を横目に、地震で亀裂の入った路面をドキドキしながら運転したのを今でも鮮明に覚えています。

もう一つは、2005年１月の開設から10年間ずっと赤字が続いた診療所を黒字に転換できたこと。役職員と友の会役員さんたちの表情と言葉は、清々しく上を向いていたように思います。

Q２　健生会の職員や友の会の人たちに伝えたいことは？

田村が今も民医連で働いていられるのも健生会と友の会の皆さんのおかげです。美味しい目光（めひかり）を食べたい方と、“原発立地地域のなれの果て”を自身の眼で確かめたい方はぜひ、福島県浜通りに足を運んでください。連絡待ってま～す。

現地を訪ねて　**福島の今を知る**

目々澤（めめざわ）郁子（法人事務局労務課）

震災から12年が経過して、浜通り医療生協の職員のみなさんの絶え間ない努力で、様々な困難に直面しながらも、いわきで暮らす住民のいのちと健康が日々守られていることに感銘を受けました。

豊間地区は、津波で流された小学校や家の跡地には海抜10mの堤防が築かれています。駅は再建され、震災ミュージアムや様々な施設が建設されて、まちの整備が進んでいます。目に見える復興は少しずつ進んでいるかもしれませんが、目に見えない心の復興はどうでしょうか。

福島第二原発のある楢葉町・富岡町は避難区域が解除され、楢葉町では35%の住民が戻っているそうです。車での移動中、まちには人の姿があまり見受けられませんでした。それもそのはず、今もなお故郷に戻れない苦しい思いをされている方が福島県全体で３万人います。さらに、震災関連死は東北の中でも福島県がダントツで、3,789人のうち2,333人と全体の６割を占めます。

今まで映像でしか捉えられていなかった震災ですが、実際に現地で直接お話を伺ってわかることがとても多くありました。それでもまだまだ見えないことが多くあるように思います。地震・津波・原発・風評の四重苦を抱えた福島に心を寄せ、持続可能な社会とは何かを私自身も考え続けていきたいです。

教育委員会を中心に福島でのフィールドワーク研修を復活させる予定でいますので、職員の皆さんが参加できるように準備を進めていきます。

原発・震災と向き合う

①

②

③

④

幹線道路には復興工事のためのダンプカーの列（②）。楢葉町・宝鏡寺の「非核の火」（③）、伝言館で安斎育郎副館長（立命館大学名誉教授）のお話しを聞く（④）。福島第二原子力発電所を海岸から眺める（①）。

連載

そうは言っても…

ぼくのつれづれ独り言

No.２　オク様とゴシュジン様

ある講演会で「奥様とは奥にいる人で、ご主人様に仕えている人という意味。その呼び方が女性が奥にいて、夫に従うというジェンダーを再生産しているのだ」という話を聞いて、なるほど！確かにそうだ。再生産をさせないためにはまずその語を使わないようにしていこう！と単純なぼくはそう決意した。

当時ぼくは薬局で働いていた。さほど大きくない門前薬局で、来局する人はほとんど高齢者、夫婦で来局される方も多かった。

「今日はご主人はどうされたんですか？」

いつも何気なく使っているこの言葉を言い換えるとしたらどうしたらいいのだろう。

「今日は相方さんは？」「パートナーさんは？」「配偶者の方は？」などと、もごもご言ってみても大抵「へ？」と大きな声で聞き返される。大体皆さん耳も遠い。

いくらもがいてみても「奥さん・ご主人」でないと伝わらない現実があった。何かいい呼称はないかと模索は続いている。

ちなみに、最近は名前を呼ぶのではなく、「受付番号」を使う医療機関も増えている。名前にコンプレックスを持つ性的マイノリティは多いので大いに歓迎したいのだが、それだってフルネームで呼んでも違う人が「はーい」と窓口に現れる日常を目の当たりにしていると、現実は難しいなぁと感じる日々だ。

(JIMUU)

連載

立川相互病院の風景

第36回

あたらしい ひそかな楽しみ

～若者の情熱について～

昨年の春から20人ほどの若者が講義を聴いています。わき目もふらず先生を注視する彼女ら（ほとんどが女性らしい）の姿勢から、真剣さがつたわってきます。きっと、医療の仕事に就こうと志をたて、新しい勉強に必死でくらいついているのでしょう。

デイルームで患者さんたちと並んで、若い人の一生懸命な姿を見ていると、涙がにじんできます。患者さんたちは元気が出ます。日本の未来を信じようという気持ちになってきます。

ひるがえって40年まえ、ぼくたちの大学生活は、まあ、ひどいものでした。当時は「医学の勉強は卒業してから」というのが教え。出席などとらない。１００人のうちたまたま30人ほどが出席したら用意したプリントが足らなくなり先生が怒り出した。朝一番の講義はいつも同じ４人だけだという噂だったが、実際に見に行ったことがないので真偽は定かでない。意を決して講義に出ても、それぞれの先生が自分の研究や興味をトートーと喋るので、ぼくにはスワヒリ語のお経のようだった。麻酔科の実習が2週間あったが、４人グループの他の3人はちっとも出てこないので、結局ぼく一人が代表して2週間個人授業を受ける羽目になった。かわりに、眼科の実習は一度も出なかったから、いまだに、メガネ度数の意味がわからない。精神科病棟は全共闘ながれの悪い人たちが占拠していたのでボイコットした。

何もかも五里霧中だったが、外科実習だけは何をやっているのかわかったので、外科医になることにした。卒業して病院に来てみると、もとが空っぽだから、見るもの聞くもの新鮮で、起きてシラフでいる時間はずっと手術室か病棟にいる生活、10年ぐらいはあっという間にすぎた。

いまの医学部はきちんと出席をとって、学生は山のように勉強させられて何でも知っている。勉強させている教授連は自分が学生の時は講義なんか出てなかったくせにいい気なものである。視聴者参加の「ラブアタック」などというくだらない番組に出場した同級生がいて、なんと軽薄な奴だと軽蔑していたら、あろうことかいま母校の医学部長をやっている。

そんな申し訳ない学生生活を送った医者と、点滴棒をひいた患者さんたちが見守る中、2月から若者たちは真新しい衛生帽をあたえられ、いよいよ実習が始まりました。真摯。以前にまして泣けます。

はばたけ、医療の若鳥たち！

【立川相互病院院長・高橋雅哉】

病院のロータリーをはさんで、歯科衛生士さんの専門学校が建ちました。

病棟のデイルームから、教室の窓がよく見えます。

暮らしの健康教室 72

季節の変わり目の体調不良にご用心

自律神経の乱れに関係あり！

福島早織・保健師

春先は日中の気温差が大きく、体調を崩しやすい季節の変わり目です。また年度末でもある3月はなにかと忙しく、ストレスや疲労から心と身体の不調をきたしやすくなります。

春先の不調は自律神経の乱れが関係しています。自律神経が乱れると疲れやすさや胃腸の不調、イライラや不眠などさまざまな影響を及ぼします。

血流の改善と規則正しい生活で予防

自律神経の乱れを整えるためには、血流の改善を心がけるとよいです。入浴はシャワーだけで済ませずに、湯船に浸かって全身を温めましょう。また寝る前に蒸しタオルなどで首元を温めると血流の改善だけでなく安眠効果も期待できます。外出時は脱ぎ着ができる服装やカイロなどを準備し、身体が冷えすぎないよう心がけましょう。

また極力、生活リズムを変えないようにすることも大切です。休日もできるだけ平日と同じ時間か、ずれても2時間程度までには起床してカーテンを開けるようにしてください。さらに朝食をよくかんで食べることで体内時計がリセットされ、自律神経の乱れを予防することができます。

バランスの良い食事も大切です。特に果物やイモ類などに多く含まれているビタミンC、緑黄色野菜や卵などに含まれているビタミンA、ナッツや魚介類に含まれているビタミンE、乳製品や豆腐などに含まれるカルシウムを積極的に摂るとよいです。

運動とリラックス時間を確保

適度な運動も効果的です。運動習慣のない方は、最初はストレッチやウォーキングなどの軽い運動から始めるようにしましょう。

リラックスする時間も大切です。好きな香りや音楽、読書などゆっくり心と身体を休める時間を確保してみてください。また好きなハーブティーを飲むのもよいです。寝る前に飲むときはカフェインが入っていないものにしましょう。

不調が起こりやすいこの季節は、自律神経を整えて元気に新年度を迎えてください。

【お勧めのリラックス法】

〈香り〉
ラベンダー、
イランイランなど

〈音楽〉
自然音、
モーツァルトなど

〈読書〉
フィクション、
気軽に読めるものなど

〈お茶〉
カモミール、
ジャスミンなど

PFAS血液検査の中間報告

約85%の住民で基準値を上回る結果

多摩地域の有機フッ素化合物（PFAS）による水汚染問題で、現在進められている地域住民の血液検査結果の中間報告についての記者会見が、1月30日に開かれました。

今回報告された87人（21～91歳・平均年齢66・8歳、女性53人・男性34人）の分析では、ほぼすべての参加者からPFASが検出され、約85%の方で米国団体などが健康リスク予防のために提唱する勧告値を超える結果が出ています。中間報告では国分寺市住民で数値が高い傾向にあり、環境省が2021年に行った全国3地点での検査平均値の3倍以上の数値となっています。

分析を行った京都大学環境衛生学の原田浩二准教授は、「多摩地域とくに国分寺市居住者でのPFAS値が高いとみられる。曝露源として主として水道水が考えられる」としています。3月までに多摩地域住民600人の検査を行う予定で、その最終報告は5月頃に発表される予定です。

会場には多くの報道陣が詰めかけました

読者の声

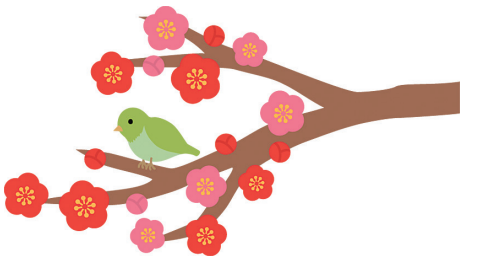
母が亡くなって30年近くになりますが、入院していた時、遠慮がちに「家に帰りたい」と言いました。その言葉が今でも耳に残っています。在宅医療ができていたらと思い、地域医療のことを考えるようになりました。【八王子市M・Sさん】

私は難聴者なので、補聴器の助成をぜひ進めてほしいです。高齢者には、難聴者が多いと思います。【府中市N・Fさん】

昨年計画した講座で、研修医の先生にお世話になりました。「未来にはばたく若い力」の新春インタビューを期待を込めて読みました。健生会も友の会も、〝若い力〟を大切に育てられるように真剣に取り組むべきだと痛感しています。【府中市E・Yさん】

昨年は交通事故に遭遇。自分はルールを守っていても、不意に飛び込んでくるのが事故。今年は四方八方にさらに気配りしつつウォーキング…。ヤレヤレ疲れそう。【立川市M・Kさん】

今年こそコロナ共存が進み、会えなかった友人と交流したいです。【昭島市K・Tさん】



今月の人

健生会
ふれあい相互病院
医事課

新井　一晃

入職一年の現在地を踏みしめる

撮影 羽田邦雄

入職からの一年間で診療所と病院を経験し、学ぶことの多い一年でした。周りの方の支えもあり、少しずつ医療福祉、民医連、そして健生会のことを理解できてきたと思います。まだまだわからないことばかりですが、健生会の掲げる無差別・平等の医療と福祉を担う一員になれるように日々の仕事に励んでいきたいです。

心にブルっときた一枚

2月1日、陸上自衛隊のオスプレイが、木更津駐屯地から立川飛行場に訓練のために初飛来しました。昭和記念公園から撮影。公園の散歩の風景に飛び込んできた爆音と猛スピードで飛び立つ姿に、思わずブルっときました。（立川市Ｉ・Ｋさん）

※投稿（写真＋コメント100字以内）を募集しています！

～お願い～

３月13日以降も、法人事業所内（病院、診療所など）ではこれまでどおり、マスク着用をお願いいたします。ご協力をお願いいたします。

「健康のいずみ」にご意見・ご感想をお寄せください

〒190-0022
立川市錦町1-23-25
健生会「健康のいずみ」
izumi@t-kenseikai.jp
ＦＡＸ(042)528-2860

連　載

私の本棚

紹介者　つばくらめ（ペンネーム、立川相互病院・事務）

空飛ぶ馬（torch comics）
北村　薫（原作）、タナカミホ（漫画）
リイド社
￥990（税込）
刊行：2021年4月

北村薫『空飛ぶ馬』は、大学に通う主人公が出会った小さな謎を落語家の円紫師匠が鮮やかに解き明かしていく短編集だ。推理小説だが、おどろおどろしい殺人や傷害事件は一切登場しない。いわゆる日常系ミステリーと呼ばれるジャンルの作品である。

しかし、ほのぼのとした話ばかり続くかと言えばそうでもない。喫茶店で紅茶に砂糖を延々と入れ続ける三人組の行動を読み解くエピソード「砂糖合戦」では、主人公はぞっとするほど悪意のこもった笑顔を目にすることになる。

今回『空飛ぶ馬』が漫画になったと聞き、真っ先に確かめたのがこのシーンの表情だった。シンプルな線で描かれた笑顔は誰の心にも潜む影のようで、ひやりと怖い。文字から浮かび出たような良い漫画になったとしみじみ思った（その後、きちんと最初から読み始めた）。

辛い結末の話もあるが、だからこそ最後の表題作で円紫師匠が描き出す善意の雪景色が美しい。原作小説を既に読んだ人にも、自信を持って紹介できるコミカライズの一冊。

3月 外来診療表

3月13日以降も、医療機関内では、これまでどおり、マスクの着用をお願いいたします。

総合病院 立川相互病院

受付時間：午前 8:30～11:00/午後 12:30～15:30　（土曜 8:30～11:00）
〒190-8578　立川市緑町4-1　総合受付 TEL 0570-052585（ナビダイヤル）
（電話予約）平日9:00～17:00/土曜9:00～12:00
救急指定病院／産婦人科、眼科は予約優先です。

立川相互病院 検索

	月 午前	月 午後	火 午前	火 午後	水 午前	水 午後	木 午前	木 午後	金 午前	金 午後	土 午前	土 午後
産婦人科 ＊印は妊婦健診	＊長坂 張 池田哲	池田麗 佐藤(不妊・予)	＊池田哲 佐藤 長坂		＊張 佐藤 池田哲		＊佐藤 長坂 池田麗	エコー外来 (輪番・予)	＊池田麗 張 輪番	産後検診 (輪番・予)	輪番	
眼科	大久保 横佐古	大久保	横佐古		大久保 矢野	大久保 矢野	大久保 横佐古	大久保	大久保 横佐古	月2回 (不定期) ★	月2回 (不定期) ★	
紹介外来内科					循環器内科 輪番(予)		総合診療科 輪番(予)		腎臓内科 輪番(予) 糖・代謝内科 輪番(予)			
脳神経外科	安部(予)		佐々木(予)				安部(予)		佐々木(予)			
肩関節・スポーツ紹介外来							守重(予)					

★詳しい日程は、外来にお問い合わせください。

※新型コロナ感染症対策のため、一部外来業務縮小を行っております。ご理解といましばらくのご協力をお願い申し上げます。
業務再開時期につきましては、当院のホームページにてご報告させていただきます。

健生会ふれあい相互病院

受付時間：午前8:30～11:00/午後13:00～15:30
〒190-0022　立川市錦町1-16-15 TEL 042-512-8720
（電話予約）平日9:00～17:00/土曜9:00～12:00

	月 午前	月 午後	月 夜間	火 午前	火 午後	水 午前	水 午後	水 夜間	木 午前	木 午後	金 午前	金 午後	金 夜間	土 午前	土 午後
精神科	永井	永井		小林義	小林義	永井	永井		小林義 永井	小林義 永井	永井			輪番	
泌尿器科	李	西村 (14:00～)		栗田		栗田 森川 (予)	栗田 (予)		栗田 李(予)	西村 (14:00～)	一ノ瀬 (予) 栗田	栗田 (予)		森川	
透析室	○		○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○
訪問診療	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○			

※泌尿器科は予約優先です。精神科は現在新規の予約を受けておりません。完全予約制です。

立川相互ふれあいクリニック

受付時間：午前8:30～11:00/午後13:00～15:30/夜間16:30～19:00　診察開始時間：午前9:00～ /午後13:30～ /夜間17:00～
（予約センター）月～金8:30～17:00/土8:30～12:00
〒190-0022　立川市錦町1-23-4　TEL 042-524-1371　**夜間外来ではできない検査もあります。内科専門外来、健康管理センターは予約制です。**

※ふれあいクリニック健康管理センターは、予約が必要です。

			月 午前	月 午後	火 午前	火 午後	火 夜間	水 午前	水 午後	木 午前	木 午後	木 夜間	金 午前	金 午後	土 午前
2階	内科	初診一般	花田徹 中西里 清水 佐藤恵①③④	花田徹 原田 松井	花田徹 松井 平野史	花田徹 福田 小林凡	福田	島田 河内 藤井 赤間	島田 南條 青柳 堀江	安川 藤井 高 飯山	浜埜 赤間 青柳	森	吉田 水谷 金子	原田 吉田 金子	平野光①　羽田① 深見①③⑤　小佐井②④ 奥泉②④　青柳②④ 赤間③　津村③　小林凡⑤
		予約	(内)藤井 (呼)土屋 (腎)小川亜 (消)菅澤	(内)斉藤②④ (呼)草島 (リウ)片岡	(呼)阿部 (呼)山田秀 (呼)草島 (呼)唐沢 (腎)小泉博	(呼)阿部 (消)野澤 (腎)小泉博	(呼)阿部 (呼)草島② (消)橋本③ (腎)小泉博 (腎)鈴木①③ (腎)大石②④⑤	(内)豊原 (呼・禁)土屋 (消)松井 (リウ)朝鳥 (神)濱田 (腎)杉田	(内)豊原②除く (消)田中 (神)濱田 (腎)神田	(内)山田正 (内)小泉豪①③ (呼)草島 (呼)阿部 (呼)矢野①③ (消)橋本	(内)小林重② (内)安川 (呼)土屋 (腎)鈴木	(呼)草島 (呼)阿部 (呼)土屋 (消)松井	(内)大谷①③⑤ (消)谷口 (消)松井 (腎)大石 (神)志知 (呼)草島②④	(内)大谷①③⑤ (呼)下浦 (神)久保田 (神)志知②④	(内)斉藤①③ (呼)粂③ (呼)草島③ (呼)丹内③ (呼)佐藤亮③
	耳鼻咽喉科		西條		小山	難聴外来(予)		今泉		寺村			新橋		輪番
3階	内科	予約	(糖・代)宮城 (糖・代)樫山 (糖・代)青柳	(糖・代)樫山 (糖・代)山崎英	(内)新井隆 (循)田村 (糖・代)寺師 (糖・代)樫山②除く	(循)井上 (循)稲葉		(循)田村①③ (循)新藤 (循)西村 (糖・代)樫山⑤除く (糖・代)澁谷	(循)田村①③ (糖・代)樫山⑤除く (リハ)山田智①③⑤	(循)田村 (糖・代)樫山 (糖・代)青木 (糖・代)澁谷 (糖・代)白川	(循)大塚 (循)中村	(循)田村 (糖・代)寺師 (糖・代)樫山	(糖・代)樫山 (糖・代)寺師 (糖・代)宮城 (糖・代)山崎英	(糖・代)樫山 (糖・代)宮城 (糖・代)青木②④ (糖・代)寺師	(糖・代)宮城①③ (糖・代)樫山②④ (糖・代)澤井⑤除く
4階	外科	一般	戸田匠	戸田匠(予)	若田 中島			高橋雅 秋山		新堰　蜂須賀 児嶋		高橋雅 ※夜間外科は2階	一沢　中本 中島　松本		土曜の外科はありません
		乳腺外来	宮澤可(予)					新堰(予)					一沢(予)		
	皮膚科		尾立 鯨岡		尾立 鯨岡	輪番		鯨岡		澤田 交代医師			尾立 鯨岡	尾立 輪番	輪番①③⑤ 尾立②④　鯨岡②④⑤
	整形外科		日野出 中島大 本橋		向山 松多①③⑤ 谷本②④ 吉田			佐藤①③⑤ 浅井②④ 伊佐治 前島		黒木 山崎 ※木曜午前の受付は午前10:30まで			向山 輪番 髙橋拓		伊佐治 王 江口②④(予)
5階	健康管理センター(予約制)		安田行(予)		青木(予)			石戸(予)		石戸(予)			石戸(予)		青木(予)
	訪問診療		草島					草島②④	山田智②④	矢野②④	矢野①③		清水　青柳	青柳①③　草島②④	

子ども診療所

受付時間：午前8:45～11:00/午後13:15～16:00
夜間16:45～19:00
〒190-0022 立川市錦町1-23-25 1階
TEL 042-525-6555 FAX 042-525-6556
要予約＝専門外来(042-525-6555)、
乳児健診・予防接種
（ネット予約または042-548-7767(24時間対応)）
※毎月第４水曜日の午後は休診となります。

立川　子ども診療所 検索

	月 午前	月 午後	火 午前	火 午後	水 午前	水 午後	木 午前	木 午後	木 夜間	金 午前	金 午後	土 午前
一般外来	○		○		○		○		要予約	○	○	○
専門外来	相談	おしっこ外来	代謝		相談	代謝	相談	循環器②④ 相談	アレルギー③ 相談②④	代謝	アレルギー	
予防接種		○		○		○		○	○		○	○
乳児健診		○		○		○		○				
訪問診療	①③											

あきしま相互病院

（医療療養型病院110床、訪問診療）

〒196-0035　昭島市もくせいの杜2-2-1
TEL 042-500-2077 FAX 042-500-2078

※ショートステイ、長期の入院に応じます。ご相談下さい。
一般外来は行っていません。

略号
(循)循環器
(心)心　臓
(神)神　経
(呼)呼吸器
(塵肺)じん肺
(消)消化器
(肝)肝　臓
(腎)腎　臓
(糖)糖尿病
(血)血　液
(内代)内分泌・代謝
(リハ)リハビリ
(リウ)リウマチ
(甲)甲状腺
(代)代　謝
(ペ)ペースメーカー
(内)一般内科
(更)更年期
(アル)アルコール
(呼外)呼吸器外科
(CF)大腸内視鏡検査
(GF)上部(胃)内視鏡検査
(禁)禁　煙
◎診　療
(予)予　約
○内の数字は該当週
(輪番)＝交代制
お問いわせください。

昭島相互診療所

診療科目：内科　受付時間：午前8:45～12:00/午後13:30～16:00
〒196-0031昭島市福島町908-17
TEL 042-545-2712 FAX 042-545-8825

	月	火	水	木	金	土
午前	安西 渡辺	安西 大坂 蜂須賀（～10時）	(予)山田①③ (予)田村②⑤ 井出	宇野 一沢②③④⑤ 安西①	安西 田村①③④	安西①③ 一沢②④
	訪問診療			訪問診療	訪問診療	
午後			(糖・予)山崎			
	訪問診療			訪問診療	訪問診療	

大南ファミリークリニック

診察科目：内科・小児科
受付時間：午前8:45～12:00/午後(予約)14:00～16:00/
夜間(木)17:00～19:00　〒208-0013 武蔵村山市大南2-1-8
TEL 042-590-0373 FAX 042-590-5700

	月	火	水	木	金	土
午前	宮地(内・小児) 金子(内) 水谷(内)	青柳(代謝) 奥野(内) 水谷(内)	宮地(内・小児) 宮本(内) 水谷(内)	南條(内) 小林(内) エコー検査	赤間(内)①②③④ 奥野(内) 宮地(内・小児)⑤	奥野(内)① 水谷(内)③ 宮澤(内)②④
		訪問診療		訪問診療		
午後		大川 （小児ワクチン外来・予）				
	訪問診療	訪問診療	訪問診療	訪問診療	訪問診療	
夜間				小林誠(内)②④		

国分寺ひかり診療所

診療科目：内科
受付時間：午前8:45～11:30/午後 往診
〒185-0034 国分寺市光町3-13-34 TEL 042-573-4011 FAX 042-573-4039

	月	火	水	木	金	土
午前	小泉豪 宮本悠①③④	吉本 林 栄養相談③ エコー検査②	小泉豪 深浦	濵田 荻原	古谷	古谷①③ 矢可部（予・物忘れ）②④
	訪問診療	訪問診療	訪問診療	訪問診療	訪問診療	
午後	訪問診療	訪問診療	訪問診療	訪問診療	訪問診療	

羽村相互診療所

診療科目：内科・小児科
受付時間：午前8:30～12:00/夜間17:00～20:00
〒205-0023 羽村市神明台1-30-5 TEL 042-554-5420 FAX 042-555-3151

	月	火	水	木	金	土
午前	小林(予)①③ 井上(予)②④ 大熊	江夏 大熊 樫山(糖・予)②	木嶋 寺本 江夏	井上 横山	木嶋 大熊	春木馨①　井上②④ 春木伸④　輪番①③ 森田(糖・内泌・予)②④ 川本(循)②
午後		飯塚(物忘れ・予)	小林(予)			
	訪問診療	訪問診療	訪問診療	訪問診療	訪問診療	
夜間			山田①③(予) 井上②④(予)※			

＊透析診療（予約制）：昼間透析月～土、準夜透析月・水・金
※第5水曜日（29日）は夜間診療は休診です。

日野台診療所

診療科目：内科・小児科
受付時間：午前8:45～11:30/午後13:45～16:00
〒191-0003日野市日野台4-26-16 TEL 042-581-6175 FAX 042-581-4070

	月	火	水	木	金	土
午前	寺師	宮地 安田	寺師 一沢	寺師 宮地②④	安田	寺師①③ 松井② 安田④
		訪問診療				
午後	休診	(小児・予約)	休診	休診	赤羽	
	訪問診療	訪問診療	訪問診療	訪問診療	訪問診療	

府中診療所

診療科目：内科・循環器科・代謝科・整形外科
受付時間：午前8:40～12:00/午後13:30～16:00
〒183-0055 府中市府中町1-13-3 TEL 042-365-0321 FAX 042-365-0323

	月	火	水	木	金	土
午前	坂入 浅谷②④	児嶋(整形) 浅谷	喜連川 青柳	岩本 宮城	浅谷 金森	田部井①③ 小泉②④
	訪問診療①③	訪問診療	訪問診療	訪問診療		
午後	鷹橋	児嶋(整形) 金森	木住野①③⑤ 竹田	休診	金森	
	訪問診療	訪問診療②④		訪問診療	訪問診療	

谷保駅前相互診療所

診療科目：内科
受付時間：午前 8:45～12:00/午後 往診
〒186-0003 国立市富士見台1-17-36 TEL 042-576-3896 FAX 042-571-6657

	月	火	水	木	金	土
午前	赤間 鎌尾(6、20日 ～10時)	赤間 大塚 7、14日 矢野 28日	小松 清水	木戸 鎌尾	鎌尾	木戸 4日 鈴木 11、25日 大塚 18日
				訪問診療		
午後	訪問診療	訪問診療	訪問診療	訪問診療	訪問診療	

すながわ相互診療所

透析診療（予約制）：昼間透析 月～土/準夜透析 月・水・金
〒190-0002 立川市幸町5-9-2 TEL 042-538-1502 FAX 042-534-0372

八王子共立診療所

診療科目：内科・呼吸器内科・糖尿病内科・整形外科
受付時間：午前8:45～12:00/午後14:00～16:30
〒192-0082 八王子市東町2-3八王子共立ビル1階
TEL 042-639-7621 FAX 042-643-1115

	月	火	水	木	金	土
午前	奥野(内) 杉山(内)	飯塚(物忘れ・予) ①②③ 小松(内)	奥野(内) 草島(呼・予)①③	杉山(内) 大石(内)②④ 中西(内)	杉山(内) 中村典(内・予)	秀嶋(内)①③⑤ 中村造(内)②④ 河野(整外)①③
				訪問診療	訪問診療	
午後	杉山(内) 宮城(糖・予)		奥野(内)	杉山(内)		
	訪問診療	訪問診療	訪問診療			

ながふさ共立診療所

診療科目：内科・整形外科・小児科
受付時間：午前8:50～12:00/午後13:45～16:30
〒193-0824 八王子市長房町1462-5 TEL 042-664-1005 FAX 042-664-6037

	月	火	水	木	金	土
午前	松田(内・小児)	宮平(内)	松田(内・小児)	大石(内) 奥野(内)	寺田(内・循) 松田(小児) 11:30～12:30	松田(内・小児)① 須藤(内・小児)③⑤ 西川(整外・予)②④
		訪問診療			訪問診療	
午後	松田(内・小児) ～18:00	井出(内) 川尻(胃カメラ・予)①③ 超音波検査(予)②④	松田(小児ワクチン外来・予)②④	松田(内・小児)		岩城(整外・予) ①③
					訪問診療	

多摩みなみクリニック

診療科目：内科・呼吸器内科・整形外科　（予約制）
受付時間：午前8:45～12:00/午後13:30～16:30
〒206-0025 多摩市永山1-7-8 TEL 042-311-4415 FAX 042-389-4044

	月	火	水	木	金	土
午前	宮﨑(内)	宮﨑(内)	宮﨑(内)	中原(内)	宮﨑(内) 超音波検査 (予)①③	田中(内) 安部(整外)②④
午後	宮﨑(内)	宮﨑(内)	古田(内)	中原(内) 宮下(糖)②④		
			訪問診療②④			

相互歯科

診療科目：歯科・小児歯科・矯正歯科
急患受付時間：午前8:45～11:00/午後13:45～15:30/夜間16:45～19:00
（急患の方はまずはお電話にてご連絡ください）
〒190-0022 立川市錦町1-17-10 TEL 042-525-6480 FAX 042-522-0348

	月	火	水	木	金	土	診療時間
午前	○ 訪問診療	○ 訪問診療	○ 訪問診療	○ 訪問診療	○ 訪問診療	○ 訪問診療	9:00～13:00
午後	○ 訪問診療	○	○ 訪問診療	／ 訪問診療	○ 訪問診療	○ 訪問診療	14:00～17:00（月・水・土） 12:30～17:00（火・金）
夜間	／	○	／	／	○	／	17:00～20:00（火・金）

相互歯科地域口腔保健センター訪問診療部（電話080-3384-3575）

けんせい歯科

診療科目：歯科・小児歯科・矯正歯科
〒192-0082 八王子市東町2-3 八王子共立ビル4F
TEL 042-646-8883 FAX 042-646-8805

	月	火	水	木	金	土	診療時間
午前	○ 訪問診療	○	○ 訪問診療	○	○	○	9:00～13:00
午後	○ 訪問診療	○ 訪問診療	／	○ 訪問診療	○ 訪問診療	○	14:00～17:00（月・金・土） 12:30～17:00（火・木）
夜間	／	○①③	／	○②④	／	／	17:00～20:00 （火①③・木②④のみ）

往診（訪問診療）は、診療所・歯科診療所で受け付けています。

▶訪問看護ステーション

いずれも午前９時～午後５時まで、ＦＡＸは24時間受け付けます

健生会にしき（立川南部）	TEL 042-522-3621 FAX 042-522-3683	健生会東中神（昭島）	TEL 042-546-2919 FAX 042-546-2973
健生会さかえ（立川北部）	TEL 042-537-3441 FAX 042-537-3468	健生会緑が丘（武蔵村山）	TEL 042-563-2133 FAX 042-562-8098
健生会しんまち（府中）	TEL 042-336-0600 FAX 042-336-0603	健生会ひのだい（日野）	TEL 042-582-7110 FAX 042-582-7118
健生会日吉町（国分寺）	TEL 042-573-6599 FAX 042-573-6998	健生会にしたま（羽村）	TEL 042-570-1815 FAX 042-570-1816
健生会きょうりつ（八王子）	TEL 042-645-6373 FAX 042-645-6637		

▶介護相談・ケアプランの作成

健生会ケアプランセンター昭島	TEL 042-544-9970
健生会ケアプランセンター国分寺	TEL 042-577-1701
健生会ケアプランセンター羽村	TEL 042-555-3180
健生会ケアプランセンター日野	TEL 042-581-4093
ケアプランセンターなのはな立川（三多摩福祉会）	TEL 042-523-7026
ケアプランセンターいきいき（八王子／いきいき福祉会）	TEL 042-639-7625

▶地域包括支援センター

府中市地域包括支援センターしんまち	TEL 042-340-5060 FAX 042-340-5622
国分寺地域包括支援センターひかり	TEL 042-573-4058 FAX 042-573-4059

▶デイサービス

健生会デイサービスセンターたんぽぽ	TEL 042-639-7630 FAX 042-639-7635